

市民提案型協働事業提案書

平成21年 9月 3日	
実行委員会あて	
グループ 提案者 提案 会田榮光、片桐真奈美、古橋俊夫	
代表者住所 守谷市久保ヶ丘4-27-7	
代表者氏名 古橋 俊夫 印	
連絡先 090-7829-6840 furuhashi@bridg	
1. 提案事業名	「守谷総合人生大学（生涯学習の仕組み、学校教育上の大学ではない）」の創設
2. 現状の課題	<p>今日、少子高齢化や地球環境問題等に代表されるように、私たち市民は、未来を切り開く上での大きな分岐点にいます。人々の生き方は多様化し、市民それぞれが人生の可能性を求めて新たな時代に立ち向かい、よりよい社会をつくり上げようとしています。そのためには、一人ひとりが「今、何ができるか」を自分自身に問いかけることが大切であり、生涯学習はその解を得るに効果的な手段です。</p> <p>社会の現実や、文化、歴史等の学び、自らと世界との深い関わりを理解し、どんな力を社会に与え得るかを考え、その可能性を見出すことを支援していくことは守谷市協働のまちづくりの重要な役割と考えられます。</p> <p>守谷市においてはいろいろな組織や場所において、市民の生涯教育の一環と考えられる事業が実施されていますが、それらは個別の活動として進められ、<u>市民の共有の資源としての認知や行動がされていません。</u></p> <p>生涯学習の実施に当たっては、その体系化と継続性を取り入れることが重要と考えます。</p> <p>例えば、市役所生涯学習課公民館グループから“生涯学習行事予定”を広報していますが、これらは思い立った講座やイベントを<u>ばらばらと寄せ集めた</u>という印象です。</p> <p>この事態は行政のみならず市民活動団体の事業活動においても同様と思われます。</p> <p>生涯学習の役割は、現在、市役所生涯学習課が担っています。しかし、福祉の人材を育成するような事業は保健福祉部が担っていると思います。</p> <p>実は、生涯学習の分野にも<u>縦割り行政のネガティブ要因</u>が絡んで、効果的なサービスが滞っている可能性があります。</p> <p>守谷市においては、協働のまちづくりの推進が重要な施策ですが、<u>推進のためのリーダー不足</u>がこの推進のネックになっています。</p> <p>協働のまちづくりリーダーの育成は速やかに対応をすべき課題です。</p>

<p>3. 事業の目的と 事業内容</p>	<p>【事業の目的】 <input type="checkbox"/>市民の豊かな人生を実現するため、「共育」「協働」の文化を育む生涯学習実践の場としての「守谷総合人生大学」を創設する。 <input type="checkbox"/>「守谷総合人生大学」は市民参加型の市民中心の運営とし、それらを市民の共有の生涯学習資源としていく。 <input type="checkbox"/>「守谷総合人生大学」は協働のまちづくりのリーダー育成を、一つの重要な役割とする。 <input type="checkbox"/>「守谷総合人生大学」においては、事業内容を体系化し、学習の目標と期待効果を明確にした上で、現行行われている公民館や児童センター等で行われている講座やイベントを整理整頓したり、新しい講座等を実施する。 そのことで、市民はより効果的に生涯学習が実践できる環境作りを行う。 <input type="checkbox"/>「守谷総合人生大学」においては、講座の付加価値を高めて有料化をしたり、講座の整理整頓を行うことで、費用面での効率化を行う。</p> <p>【事業内容】 <1年度>・・・調査研究と設立準備 ①メンバー編成→9名（市役所4名、市民4名、アドバイザー1名） 市役所からは下記の視点で各部1名参加 ・生活福祉部→協働推進人材育成 ・保健福祉部→子育てや福祉人材育成 ・都市整備部→まちづくり人材育成、ご当地案内人育成 ・教育委員会→生涯学習 ②「守谷総合人生大学」設立のための調査研究 ・現状実施されている生涯教育の調査（内容、組織、実施収支等） ・市民ニーズ調査 ・先行事例調査 ・関連条例等の調査 ・設立に当たっての市役所主管部署の決定 ⇒調査結果と実施モデルについての報告 ③設立準備 ・「守谷総合人生大学」コンセプト策定 ・「守谷総合人生大学」マスタープラン作成（3ヶ年計画） ・「守谷総合人生大学」運営組織の検討と編成 ・守谷総合人生大学設立初年度の予算策定及び獲得 ・守谷総合人生大学設立初年度のカリキュラム策定と講師の手配 ・市民に対する守谷総合人生大学の広報・周知活動</p>
<p>4. 事業の期間</p>	<p>1年→「守谷総合人生大学」設立のための調査研究と設立準備 2年度以降→「守谷総合人生大学」を運営する継続事業</p>
<p>5. 協働の効果</p>	<p>・市民は人生設計の一つとしての生涯学習の場を活用し易くなる。 ・まちづくりの共有の資源として、<u>協働のまちづくりに寄与</u>することができる。 ・生涯学習関連の事業を一元的に行うことで、市民は生涯学習受講の<u>チャンスが増え</u>、行政は市民サービスの向上、<u>市の人的負荷削減及び費用削減</u>のできる可能性がある。</p>

<p>6. 役割分担</p>	<p>(提案者の役割)</p> <p>< 1年目 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究と設立準備の実働 ・「守谷総合人生大学」運営組織編成作業 <p>< 2年目以降 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「守谷総合人生大学」運営組織事務局
	<p>(市の役割・担当課)</p> <p>< 1年目 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究と設立準備の実働（各部から担当者参加） ・実施に当たって、条例の変更や新規条例が必要な場合の対応 ・調査研究及び設立準備に係わる費用負担 ・2年度以降の予算化措置 <p>< 2年目以降 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「守谷総合人生大学」運営委託費負担 ・「守谷総合人生大学」運営の監査
<p>7. 計画事業 終了後の対応</p>	<p>1年目「守谷総合人生大学」設立の調査研究と設立準備作業を行い、 2年目以降は「守谷総合人生大学」の運営を継続事業として進める。</p>

守谷総合人生大学イメージ(案)・・・たたき台

1. キャンパス



- ・北守谷キャンパス・・・守谷市民活動支援センター利用、ここに本部機能も置く。
- ・中央公民館キャンパス・・・中央公民館会議室等を利用
- ・駅前キャンパス・・・夜間中心、東京やつくば等に勤務している方対象
- ・高野公民館キャンパス・・・高野公民館会議室等を利用
- ・郷州公民館キャンパス・・・郷州公民館会議室等を利用

2. 受講対象者

義務教育終了で、守谷市在住あるいは守谷市の企業等に勤務の方

3. 学生種別

- ①本科生→1年間の規定のカリキュラムを受講するもの・・・卒業証書授与
- ②ゲスト学生→スポットの講座受講やイベントに参加するもの

4. コース

<本科生向け>・・・1年コース

守谷市まちづくり学科

物作り学科

・まちづくりリーダー育成学科

・まちの案内人学科

社会福祉学科

・介護福祉学科

・子供支援学科

<ゲスト学生向け>・・・スポット、現行講座の有効活用

・趣味の講座

・子育ての講座

・スポーツ講座

・パソコン講座



(様式第1号の2)

協働事業収支予算書

提案事業名	「守谷総合人生大学（生涯学習の仕組み、学校教育法上の大学ではない）」の創設
提案者	古橋 俊夫

収入の部

区分	見積額（単位：円）	積算根拠（数量、単価等）
市予算	447,920	市事業予算として確保
収入合計	447,920	

支出の部

区分	見積額（単位：円）	積算根拠（数量、単価等）
会議費	25,920	120円×9名×24回
先行事例調査交通費	80,000	5000円×4名×4か所
先行事例調査宿泊費	80,000	10000円×4名×2か所
アドバイザー謝金	120,000	10,000円×1名×12回
アドバイザー交通費	72,000	6000円×1名×12回
報告書印刷費	50,000	
電子会議室開設費	20,000	レンタルサーバ利用料（1年分）
支出合計	447,920	

(様式第1号の4)

協働事業個人（グループ代表者）概要書

1. 氏名	氏名 : 古橋 俊夫	<input type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開
住所	住所 : 守谷市久保ヶ丘4-27-7	<input type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開
電話・FAX	電話 : xxxxxxxxxxxx FAX :	<input type="checkbox"/> 公開	<input checked="" type="checkbox"/> 非公開
e-mail	e-mail:furuhashi@bridge.bz	<input type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開
<要注意>公開・非公開に記載がない場合は、公開可と判断します。			
2. 活動の目的	守谷市協働のまちづくりの推進		
3. 活動の分野 実績⇒ <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 保健・医療・福祉 <input type="checkbox"/> 社会教育 <input type="checkbox"/> まちづくり <input type="checkbox"/> 文化・芸術・スポーツ <input type="checkbox"/> 環境保全 <input type="checkbox"/> 災害救援 <input type="checkbox"/> 地域安全 <input type="checkbox"/> 人権擁護・平和推進 <input type="checkbox"/> 国際協力 <input type="checkbox"/> 男女共同参画社会の形成 <input checked="" type="checkbox"/> 子供の健全育成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報化社会の進展 <input type="checkbox"/> 科学技術の振興 <input checked="" type="checkbox"/> 経済活動の活発化 <input checked="" type="checkbox"/> 職業能力の開発・雇用機会の拡充支援 <input type="checkbox"/> 消費者の保護 <input type="checkbox"/> 団体運営の支援 <input type="checkbox"/> その他		
4. これまでの市民活 実績と今後の予定	・守谷市協働のまちづくり推進会議メンバー ・NPO法人市民のための健康医療ネットワーク理事（茨城県認証） ・NPO法人地域自立ソフトウェア連携機構理事（「内閣府認証」） ・つくばスマートコリドール構想推進協議会ワーキンググループメンバー ・NPO法人スマートコンシェルジュセンターの設立（22年1月予定）とその運営		
5. 特技	・ITコーディネータ（中小企業のIT化を経営の視点でサポート） ・指定管理者業務の提案コンサルティング		
4. 市との協働に 関する考え方	協働のまちづくりを一緒に推進したいと考えています。		
8. 協働に当たって 他団体との連携	<input type="checkbox"/> 提携団体単独で市と協働したい <input type="checkbox"/> 他の団体と連携したい <input type="checkbox"/> 状況により連携してもよい (理由) 利害関係が発生しないように、新しくチームを編成するのが、推進に当たっては効果的と考えます。		
9. 備考	<事業を支援する人やチームがあれば記入して下さい>		